

2019年 1月 31日

これまでに TC 療法・開腹手術を受けた患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

西病棟 4 階では「婦人科癌の治療における手術療法および化学療法（TC療法）の排便に及ぼす影響」という臨床研究を行っております。この研究は、TC療法と開腹手術による便秘やイレウスを発症するリスクを調べることを主な目的としています。そのため、過去に上記治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は岡山大学病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間

2019年1月31日 ～ 2019年8月31日まで

対象調査期間

2013年1月1日 ～ 2017年12月31日まで

○今回の調査研究の対象はこれまでに TC 療法・開腹手術を受けた患者さんのカルテ、レントゲン写真です。

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○この調査研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、2019年8月31日までに、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

岡山大学病院 医歯薬学総合研究科 産科・婦人科学
准教授 中村 圭一郎（平日：8時30分～17時00分）
TEL：086-235-7320 FAX：086-235-9570